

平成28年度岡山ESD推進協議会  
岡山ESDプロジェクト活動支援助成金事業報告書

事業名 ESDの視点に立った地域人材育成の取組

団体名 岡山県立津山工業高等学校 工業化学科 担当者名 三宅 宏

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

表1のとおり

岡山市関係の活動写真

8月22日 足守公民館 廃食用油石けんづくり



環境や肌にやさしい無添加の石けんづくりを通して環境保全の大切さや異なる世代と交流をします。

8月25日（木） 岡山一宮公民館 草木染め



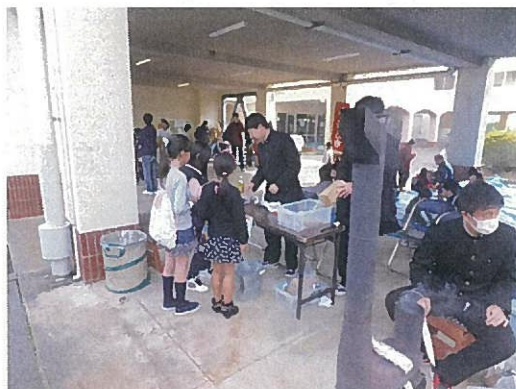
毎年一宮公民館で行っています。今年も特定外来生物「オオキンケイギク」を使った草木染めを行いました。オリジナルマイバッグを染めてもらい、レジ袋を使わない活動と外来生物について学び、交流します。

10月29日(土)30日(日) 岡山市中央公民館 石けんの普及活動



工業化学科で製造した地球に優しい廃食用油石けんを配布し、環境保全や水質浄化について考えてもらいます。配布時に集めた募金は東日本の施設にお送りしています。この活動は平成23年から行っています。

11月20日(日)岡山市立一宮公民館 一宮わくわくふれあい広場



工業化学科で製造したペレット燃料で焼き芋を焼いて、地域の方々に提供しています。ペレット燃料やペレットコンロを紹介する活動を通じて、環境保全について考えます。

1月19日(木) 児島湖清掃活動



児島湖のヨシ刈りを行い、刈ってきたヨシはペレット燃料として活用します。また工業化学科の1年生40名と教員3名で清掃活動を行いました。

<p>2. ESD の視点を取り入れたところ、ESD の視点で見直したところ</p>
<p>工業化学科では、森林や葦の役割を学び、地域の森林組合や県の環境管理課と連携して、体験活動を実践し、森林の必要性や葦の利用法を学習しています。また、実習や課外活動で製造した廃食用油やペレット燃料を公民館やリサイクルショップで配布し、水質浄化や環境保全の普及活動を行っています。外来植物をつかった草木染めやペットボトルを利用した万華鏡づくりや廃プラスチックを使ったものづくりの環境講座を行っています。</p> <p>工業化学科では、「人や地域にやさしいものづくり」「学んだ事を地域で実践し地域の課題を見つけ地域に学ぶ」「地域に貢献できる人材を目指す」などを中心とした日々の教育活動を展開し、地域の活性化につながる人材育成を目的としています。人づくりが地域を元気にし、やがては環境保全の核となる人材が期待されます。</p>
<p>3. 取組の成果（参加者の変化、感想など）</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・岡山市内での環境講座参加者（岡山市立一宮公民館、足守公民館） 地域の方、児童 58名</li> <li>・操山フェスタ（岡山市立中央公民館）廃食油石けんの普及活動 200名</li> <li>・一宮わくわくふれあい広場（岡山市立一宮公民館）ペレット燃料の紹介 250名</li> <li>・児島湖清掃活動 高校生40名</li> <li>・環境保全や種の保存について考えるきっかけになった。</li> <li>・高校生のお兄さんやお姉さんがやさしく丁寧に教えてくれた。</li> <li>・高校生の生徒さんたちと一緒に石けんづくりができて楽しいひとときが過ごせた。</li> </ul> <p>などの感想をいただいています。</p>
<p>4. 今後の課題と展望</p>
<p>今年度の工業化学科の環境講座や出前授業は岡山、津山、真庭、美作の各地域で行うことができ、活動支援の助成をいただいたことで活動の場が広がりました。より多くの地域の方々と環境保全を通じた活動を今後も展開したいと思っています。</p>